

令和5年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人：5件

(敬称略)

氏名	功績の概要
<p>あらかわ かおる 荒川 薫</p> <p>明治大学 総合数理学部長・教授</p>	<p>長年にわたり、電気通信紛争処理委員会及び情報通信審議会において、情報通信に関する豊富な経験と高い見識を生かして審議に精励し、特に電気通信紛争処理委員会では委員長代理として多岐にわたる紛争事案等の解決を通じて情報通信の健全な発達に多大な貢献をした。</p>
<p>うちやまだ たけし 内山田 竹志</p> <p>トヨタ自動車株式会社 取締役・Executive Fellow</p>	<p>情報通信審議会会長として幅広い見識を生かし、長年にわたり審議を円滑に運営するとともに、情報通信月間推進協議会会長として情報通信の普及振興に務めるなど、我が国の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。</p>
<p>すみた えいいちろう 隅田 英一郎</p> <p>国立研究開発法人情報通信研究機構 主管研究員</p>	<p>高精度な自動翻訳技術を開発するとともに、ボイストラなどを通じた社会実装や翻訳バンクによるデータ収集エコシステムの構築、更にはAIによる同時通訳の基盤技術の確立など多岐に渡る活躍により、我が国における自動翻訳技術の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>とみた あきひさ 富田 章久</p> <p>北海道大学大学院 情報科学研究院 教授</p>	<p>長年にわたり、量子情報通信技術に関する研究開発等の取組を牽引し、世界最先端の技術の確立や国際標準化活動に貢献したほか、人材育成及び産学官連携に向けたフォーラム活動に尽力し、我が国における量子情報通信分野の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>まつもと つとむ 松本 勉</p> <p>横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授</p>	<p>長年にわたり、暗号技術や認証技術をはじめとするサイバーセキュリティの研究開発に尽力するとともに、暗号技術検討会座長としてCRYPTRECによる電子政府推奨暗号の安全性評価・監視等を主導し、自由、公正かつ安全なサイバー空間の確保に多大な貢献をした。</p>

2 団体：2件

(敬称略)

団体名	功績の概要
一般社団法人 ICT-ISAC (理事長 齊藤 忠夫) <small>さいとう ただお</small>	情報通信分野におけるサイバーセキュリティ対策のための組織として、我が国初のISACとして設立以来二十年にわたり活動し、情報共有や人材育成、他分野のISACにおける活動の先導や海外機関との連携などを通じて、情報通信分野におけるサイバーセキュリティの向上に多大な貢献をした。
G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合 開催推進協議会 (会長 群馬県知事 山本 一太) <small>やまもと いちた</small>	令和5年4月29日及び30日に開催されたG7群馬高崎デジタル・技術大臣会合において、各国代表をもてなすとともに、県民・市民も参加した機運醸成に向けた様々な取組を実施するなど、会合運営を支援し、同会合の成功に多大な貢献をした。